

全国アスベスト適正処理協議会

第14回企画運営委員会

議事録

日時：平成20年12月16日（火） 16時～

場所：スクワール麹町

●議 事

1. 国土交通省・WGヒアリングの報告
2. 第4回勉強について
3. 今後のスケジュールについて
4. その他

●資 料

1. 社会資本整備審議会建築分科会アスベスト対策部会について
2. 全国アスベスト適正処理協議会アスベストセミナー
3. 今後のスケジュール(案)

参考資料

- ① 第13回企画運営委員会議事録

<出席者> (敬称略)

飯島 孝	(財) 産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
吉田文章	(財) 産業廃棄物処理事業振興財団 技術部担当部長
花澤義和	三協興産(株) 代表取締役
大山正一	三協興産(株) 取締役ソリューション事業部 事業部長
原島 浩	(株)ヤシマ環境総合研究所 代表取締役
小坂幸彦	ヤシマ工業(株)経営企画室室長
山口陽二	環境リサーチ(株) 代表取締役
豊口敏之	(株)環境管理センター 分析センター副センター長
穂積篤史	都築鋼産(株) 取締役営業管理部長
曾我友成	(株)カムテックス 東京営業所所長
渡部百子	(株)リバックス建築環境計画
小峰且也	環境新聞社 取締役
酒井 剛	環境新聞社 広告・事業担当次長
黒岩 修	環境新聞社 編集部記者

議事：

1. 前回議事録の確認・承認

・前回の第13回企画運営委員会の議事録を確認の上、承認された。

2. 豊口・調査分析部会副部長より国土交通省・WGヒヤリングの報告が行われた。

3. 今日の勉強会について（モデル事業について）

・港区はEV等のアスベスト除去は100万円か150万円の助成金制度があり、申請も楽だが、国交省のモデル事業は民間レベルでは申請が大変で審査が厳しい。

・国交省が地方公共団体に補助する制度であって、行政に使うお金ではないだろうか。

・この情報・制度は設計事務所・ゼネコン等がもって営業すれば仕事になりうる。

・設計会社のお膳立てがないと調査分析会社が依頼を受けるのは難しい。

・このモデル事業の補助金については自治体の申請はまだ少ないのが現状である。

・案内やタタキ台を協議会で作成して手伝うのはどうだろうか。

・今回は通達が理解しにくく、今回の勉強会を設定された。

・除去のモデル事業は危険をはらんでいる。

・調査・除去の補助金の括りはないので、お客さんには調査を切り口にした方が良く思う。

・大防法の届出の数字から10億の予算をわり出している。

・調査を全面に出して営業するようなビジネスモデルを作っていこう。

・協議会のネットワークを使いながら、各企業が仕事につなげるようにする。

・公的機関から責めるのがいいだろう。

4. 今後のスケジュールについて

・1月の企画運営委員会から始まり半年間のスケジュールの説明があった。

・ガイドラインのスケジュールは清水・コンサル部会長と相談してからもりこむ。

・ガイドラインの現状は、各部会長でチェックしている状況である。

・HP・出版物・認定基準を整理しなければ、ガイドラインの3月アウトプットは厳しい。

・ガイドラインの内容すり合わせの詰めは、何回もやらなければ良いものは出来ない。

・事務局の分室化の検討を含め、会員間で機能強化をしないと今後の運営は厳しいので、今後検討することとなった。

5. その他

・社団化の情報として、廃棄物学会は一般社団を取得し、手続きは簡単なようである。

・今後、公益社団法人へ変更は可能だが、公益社団法人から一般社団法人へ変更はできない。

・この件について廃棄物学会のほうから、情報を得るようにする。

・次回の企画運営委員会は1月21日（水曜日）16:00～環境新聞社の予定

以上